

信玄生誕 500 年記念特別局（8 J 1 T S N）の運用について

1 運用希望申込方法

(1) 運用希望申込書に記入し

Ja1uxc*jarl.com（*は@に読み替えて下さい）あて申し込んでください。

(2) 申し込みは 1 週間単位（木曜日から翌週の水曜日）で概ね 1 か月後までの運用分を受け付けます。

運用期間は原則 1 週間ですが、一週間未満でもかまいません。（運用可能な日数でお願いします）

許可は運営委員会で協議決定し、メールで結果を連絡します。

支部行事等で希望に添えないことや変更をお願いすることもあります。

2 ログの作成と提出方法

- ・ ログはハムログ形式の HDB ファイルまたは CSV ファイルで提出してください。
- ・ ログ(Remarks1)に運用者のコールサイン、氏名、運用場所(市町村コードと市町村名)の入力をお願いします。山梨県や郡名は印刷時にいれますのでログには入れないでください。
入力は \$A=JA1QRM 運用者名\$ \$B=市町村コード :運用市町村名\$ でお願いします。
必ず A B とも始めと終わりに\$をつけてください。
(注意) \$, A, B, =は半角文字でお願いします(漢字入力はダメ)
コードから判断し郡名・市町村名を印字します。町村の場合 / の後に HAMLOG の町村コードを記入してください。
海外局の場合も国内局と同じです。(別途、印刷時にローマ字で印刷します)
海外局にも対応できますので、名前には()内に読み方を入れてください。
(記入例) \$A=JA1QRA 山下(Yamashita)\$ \$B=JCG 17004/F 市川三郷町\$
\$A=JA1QSB 秋山(Akiyama)\$ \$B=JCC 1701 甲府市\$
* HAMLOG 画面で オプション → 入力環境設定 の画面で Remark1 保存 にレ点 を入れれば一度入力すれば以後は入力省略が可能です。
- ・ Remarks2 は印刷時に使用する場合がありますので記入しないでください。
- ・ 運用時刻は海外局との交信でも JST でお願いします。
- ・ 運用が終了したら運用結果報告書とログ(ハムログ形式の HDB ファイルまたは CSV ファイル)をすみやかに提出してください。提出先は申し込み先と同じです。

3 QSL について

交信相手からの QSL は求めないでください。いわゆる 1WAY 方式です。

QSL の印刷・発送は提出されたログから山梨県支部で行い 全てビューローに発送します。

発行不要の局のばあいハムログ QSL 発行受領欄の先頭に"J"ではなく"N"を記入願います。

発行はJARLビューローのみ対応します。(例外として JA1UXC あて SASE ダイレクトも OK)

4 運用上の注意事項

運用は山梨県内をお願いします。また、コンテストへの参加はお控えください。

8J1TSN の運用できる周波数などは

周波数 1.8~430MHz 帯 出力は最大 50W の移動局

MODE は CW、SSB、FM、FT4、FT8、RTTY、SSTV です。

QSL は JARL ビューロー経由のみで一方向的に発送し、相手局からの QSL 発行は求めないことを相手に伝えて下さい。

また、様々なアワードへの対応はできませんのでご注意願います。

(例) 道の駅で運用した場合の押印 や QSL に記入が求められる内容の印刷

5 リグの受渡し方法は別途協議します。

何かわからない点があればメールにて連絡をお願いします。